

令和4年度事業報告

令和4年 4月 1日から

令和5年 3月31日まで



あそ未来創造塾第2期生 修了式



公益財団法人

阿蘇地域振興デザインセンター

ASO DESIGN CENTER

(総括)

令和4年度は、新しいかじ取り役（事務局長）を迎えることが出来ましたが、9月より休職、12月末に退職するという事態となりました。また、主要為替通貨である豪ドルが、近年になく高値となり、対応策として事業量を追加した補正予算を組むことになりました。

事務局長不在と事業の追加という状況ではありましたが、計画された事業のほとんどを実施することが出来ました。

さて、令和4年度から5年間の新たな「中期計画」がスタートしました。計画では「人材育成」「関係人口」「伴走支援」を重要なキーワードとし「住み続けられる阿蘇づくり」を長期ビジョン（SDGs 11該当）としています。

令和4年度の事業計画も、3つのキーワードに基づいた事業を核に実施しました。

1. 「人材育成」に関しては、令和3年度に引き続き熊本大学の支援を得て「あそ未来創造塾」を開講し、様々な地域課題の解消に向けて研鑽を積むことが出来ました。2期目の4年度も11名の塾生と1名の聴講生が学びました。

昨年度の卒塾生からは「地熱珈琲」「うぶあま」などの産品が生まれ、地域の活性化への期待が高まっています。4年度も南郷檜や小国杉、ドライフラワーなどの地域資源を活用した製品化やヨガの体験ツアーなどを目指す塾生もあり、成果がありました。

観光まちづくりを担う人材育成を目指す「観光地域づくりリーダー育成講座」からは、地域資源を活かした「旅の企画」が複数生まれました。また、昨年度の修了生が、研修をベースに、新たな温泉地の産品を商品化するなど、持続的な活動に広がりました。

2. 「関係人口」に関しては、大都市圏における関係人口創出のためのターゲット絞り込みの試み（銀座熊本館などで）やWEBサイトの開設に向けて調査に取り組みました。

3. 「伴走支援」に関しては、あそ未来創造塾の塾生の起業化支援や「阿蘇珈琲」のブランド化に対する情報発信及び「阿蘇ジオパーク推進協議会」への支援などに取り組みました。

アクティビティの造成に関しては「ASO ロゲイニング大会」が4回目の開催となり、地域住民によるマルシェや乗馬体験との連携も始まりました。

人口減少社会にあって、いかに新たな人材を確保し育成するかが、今後益々重要になってくるなかで、令和3年度から4年度にかけて、あそ未来創造塾や観光地域づくりリーダー育成塾などから40名を越えるまちづくりを支える人材が生まれ、将来の糧となる新たなネットワークの礎が築かれたことは評価に値すると思います。

令和4年度は、基本財産の運用益が9月には増額しましたが、翌年3月には、アメリカやスイスの銀行破綻や経営悪化もあり伸び悩みました。今後もアメリカなどでの金融不安が生じることも予測されており、世界経済の動向を注視することが望めます。



中期計画 基本方針

I. 概 要

令和4年度収支決算（概要）

○収入について・・・・・・・・計88,083千円 ①

(内訳)

基本財産運用益・・・・・・・・74,442千円

受取国庫補助金・・・・・・・・10,404千円

受取地方公共団体補助金・・・・2,250千円

受取民間助成金・・・・・・・・400千円

市町村等負担金(※)・・・・565千円

※阿蘇市、竹田市、高千穂町、高千穂町観光協会、豊の国千年ロマン観光圏
雑収入等・・・・・・・・22千円

○支出について・・・・・・・・計93,690千円 ②

(内訳)

事業費・・・・・・・・80,629千円

管理費・・・・・・・・13,061千円 (※)

(※) 管理費には理事会費、顧問団等経費を含む

○収支差額 (①-②) △5,607千円 ③

○前年度繰越金額 57,815千円 ④

○翌年度繰越金額 (③+④) 52,208千円

II. 評議員会・理事会・幹事会の開催について

1. 評議員会

法律並びに定款に定められた重要な事項を決定する評議員会を4回開催しました。

・第1回評議員会（書面決議）

① 決議日 令和4年4月20日（水）

② 同意事項

議案第1号 理事の選任について

議案第2号 評議員の選任について

議案第3号 議案第1号から議案第2号の提案を可決する旨の評議員会の決議があったとみなされる日は、令和4年4月20日とすることについて

・第2回評議員会

① 開催日 令和4年6月23日（木）

② 場所 熊本県阿蘇総合庁舎 2階大会議室

③ 報告事項

報告第1号 令和3年度事業報告について

④ 審議事項

議案第1号 令和3年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について

・第3回評議員会（書面決議）

① 決議日 令和4年8月12日（金）

② 同意事項

議案第1号 理事の選任について

議案第2号 議案第1号の提案を可決する旨の評議員会の決議があったとみなされる日は、令和4年8月12日とすることについて

・第4回評議員会（書面決議）

① 決議日 令和4年10月13日（木）

② 同意事項

議案第1号 理事の選任について

議案第2号 評議員の選任について

議案第3号 議案第1号の提案を可決する旨の評議員会の決議があったとみなされる日は、令和4年10月13日とすることについて

2. 理事会

当財団の運営に関する事項を決議する理事会を6回開催しました。

・第1回理事会（書面決議）

① 決議日 令和4年4月11日（月）

② 同意事項

議案第1号 令和4年度第1回評議員会の開催について

議案第2号 議案第1号の提案を可決する旨の理事会の決議があったとみなされる日は、令和4年4月11日とすることについて

③ 報告事業

報告第1号 人事異動および退職に伴う理事及び評議員の就退任について

・第2回理事会

① 開催日 令和4年5月27日（金）

② 場所 阿蘇草原保全活動センター 多目的会議室

③ 審議事項

議案第1号 令和3年度事業報告について

議案第2号 令和3年度会計決算及び監査報告について

議案第3号 令和4年度第2回評議員会の開催について

議案第4号 公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター職員就業規則等の改定について

④ 報告事項

報告第1号 公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター中期計画策定に伴う公益目的事業変更届出について

・第3回理事会（書面決議）

① 決議日 令和4年8月5日（金）

② 同意事項

議案第1号 令和4年度第3回評議員会の開催について

議案第2号 議案第1号の提案を可決する旨の理事会の決議があったとみなされる日は、令和4年8月5日とすることについて

③ 報告事項

報告第1号 理事辞任に伴う就退任について

・第4回理事会

① 開催日 令和4年10月4日（火）

- ② 場 所 阿蘇草原保全活動センター 草原学習館
- ③ 審議事項
 - 議案第1号 副理事長の選定について
 - 議案第2号 令和4年度追加事業について
 - 議案第3号 令和4年度第1回補正予算について
 - 議案第4号 令和4年度第4回評議員会の開催について
- ④ 報告事項
 - 報告第1号 理事の就退任について
 - 報告第2号 評議員の就退任について
 - 報告第3号 事務局長について

・第5回理事会

- ① 開催日 令和4年12月26日(月)
- ② 場 所 阿蘇草原保全活動センター 草原学習館
- ③ 審議事項
 - 議案第1号 (公財)阿蘇地域振興デザインセンター事務局長の公募について
 - 議案第2号 新時代に向けた阿蘇地域のビジョンを考える(台湾半導体企業等、新阿蘇くまもと空港開港の対応)について
- ④ 報告事項
 - 報告第1号 令和4年度上半期事業進捗状況について

・第6回理事会

- ① 開催日 令和5年3月2日(木)
- ② 場 所 阿蘇草原保全活動センター 草原学習館
- ③ 審議事項
 - 議案第1号 令和5年度事業計画について
 - 議案第2号 令和5年度会計予算について
 - 議案第3号 「公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター賃金規程」の一部改正について
 - 議案第4号 阿蘇くじゅう観光圏整備計画「令和5年度～令和9年度」について

3. 幹事会

当財団の事業運営に関する事項を協議し、意見を具申する幹事会を4回開催しました。

・第1回幹事会

- ① 開催日 令和4年5月20日（金）
- ② 場所 阿蘇市農村環境改善センター 農事研修室
- ③ 協議事項
 - 1) 令和3年度事業報告について
 - 2) 令和3年度会計決算報告について
 - 3) 阿蘇地域振興デザインセンター職員就業規則等の改定について
- ④ 報告事項
 - 1) 人事異動および退職に伴う役員の就退任について
 - 2) 令和4年度第2回理事会・第2回評議員会の開催について
 - 3) 阿蘇地域振興デザインセンター中期計画策定に伴う公益事業変更届出について

・第2回幹事会

- ① 開催日 令和4年9月28日（水）
- ② 場所 熊本県阿蘇総合庁舎 2階 大会議室
- ③ 協議事項
 - 1) 令和4年度追加事業について
 - 2) 令和4年度第1回補正予算について
- ④ 報告事項
 - 1) 副理事長の選定について
 - 2) 理事の就退任について
 - 3) 評議員の就退任について
 - 4) 理事会および評議員会の開催について

・第3回幹事会

- ① 開催日 令和4年12月22日（木）
- ② 場所 阿蘇市農村環境改善センター 農事研修室
- ③ 報告事項
 - 1) 令和4年度上半期事業進捗状況について
- ④ 協議事項
 - 1) 新時代に向けた阿蘇地域のビジョンを考える（台湾半導体企業等、新阿蘇

- くまもと空港開港の対応について)
- 2) (公財)阿蘇地域振興デザインセンター事務局長の退職について

・第4回幹事会

- ① 開催日 令和5年2月28日(火)
- ② 場 所 草原学習館
- ③ 協議事項
- 1) 令和5年度事業計画について
 - 2) 令和5年度会計予算について
 - 3) 賃金規定の一部改正について
 - 4) 阿蘇くじゅう観光圏整備計画「令和5年度～令和9年度」について
 - 5) (公財)阿蘇地域振興デザインセンター有期雇用職員(研究委員)募集について

Ⅲ. 事業報告

公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター（以下、阿蘇 DC）の中期計画に基づく令和4年度の事業実施状況は次のとおりです。

（単位：千円）

事業番号	事業の内容	個別事業	事業費
公益目的事業1 （取り組み②）	豊かな自然による世界ブランドの確立 ～阿蘇草原の維持・再生～	ア 草原再生 PR 事業	4, 500
		イ 野焼き支援事業	1, 500
		ウ 阿蘇製品の振興	2, 927
		エ 世界ブランド事業の推進	12, 660
公益目的事業2 （取り組み①）	地域の元気再生による地域力の向上	ア 地域元気再生支援事業	4, 715
		イ 的確な情報発信	4, 144
		ウ 阿蘇回帰運動への取り組み	3, 138
		エ 人材育成事業	3, 896
公益目的事業3 （取り組み③）	広域連携による競争力のある観光地づくり	ア 新たな阿蘇資産の構築・推進	4, 339
		イ 何度も訪れたくなる観光地づくり	3, 174
		ウ 広域連動型観光まちづくり事業	25, 094
事業費計（人件費按分前）			70, 077
（事業費に係る人件費）			10, 552
事業費総計			80, 629

《公益目的事業 1（概要）》

豊かな自然による世界ブランドの確立～阿蘇草原の維持・再生～》（取り組み②）

【ア 草原再生PR事業】 【イ 野焼き支援事業】

阿蘇 DC の中期5か年計画（平成29年度～令和3年度）に則り、安定的な財源を確保し恒久的な草原の保全を目的として、平成27年度に創設された「阿蘇草原保全支援システム」への負担を継続しました。具体的には、「阿蘇草原保全支援システム」の県市町村負担金1,200万円の50%に当たる600万円を、構成8市町村分として負担いたしました。

令和4年度は、草原環境・体験事業の一環として、「草原ボランティアリズム」や「地元小学生の草原環境・体験学習」、普及・啓発事業としてセミナー等や草原再生PRや野焼き支援を行い、草原の維持・再生を推進しました。

【ウ 阿蘇製品の振興】

当初、あか牛振興事業として取り組んでいましたが、あか牛に限らず阿蘇の産品全体を視野に置いた取り組みへと移行し、現在に至っています。

令和4年度は、ビジネスプランコンテストで最優秀賞を受賞した南阿蘇村在住の後藤さんの珈琲豆栽培がきっかけとなって、豆の栽培が試みられています。火山と珈琲という関連性からも、阿蘇地域の新たな産品の萌芽として育成したいものです。

また、あか牛肉の持つヘルシー性が話題となり、あか牛丼を提供する飲食店も増えるなか、新たなメニューとして最近登場してきたのが「ハンバーグ」です。

あか牛の肉を無駄にしない「フードロス」に対応できるSDGsに適った産品として注目しています。

魅力ある景観再生として取り組んできた花の回廊づくりは、特に熊本地震からの復興のシンボリックな活動を目的に、住民や子どもたちによる身近な環境整備活動として継続しています。

阿蘇地域にある世界農業遺産阿蘇フットパスコースの魅力化の一環及び令和5年7月に全線開通する南阿蘇鉄道のイベントとしてフットパス大会を開催しました。健康志向の高まりや新型コロナ感染拡大の影響もあり、野外での活動への関心が高まっていることもあり、多くの方が参加しました。

【エ 世界ブランド事業の推進】

令和4年度は、阿蘇ユネスコ世界ジオパーク再認定年度に当たることから、阿蘇ジオパーク推進協議会事務局と連携して取り組むことが出来ました。

阿蘇地域の多くの方々の支援を頂き、審査にあたって「グリーンカード」に値するとの評価に加えて、あそ未来創造塾の取り組みなども高く評価されました。

【ア 草原再生 PR 事業】

事業内容	<p>ア 阿蘇草原保全支援システムへ負担金支払（閲覧資料1）</p> <p>草原景観維持の施策を地域統合的に検討実施する目的で熊本県主導のもとに立ち上げた「阿蘇草原保全支援システム」へ阿蘇 DC の事業を付託しました。</p> <p>・地元小学生の草原環境・体験学習 ・草原ボランティアリズム普及啓発活動・セミナー開催 ・広報活動</p>	
決算額	<p>【総額】 4, 500 千円</p> <p>ア 阿蘇草原保全支援システム（支払負担金） 4, 500 千円</p>	

【イ 野焼き支援事業】

事業内容	<p>イ 阿蘇草原保全支援システムへ負担金支払（閲覧資料1）</p> <p>草原景観維持の施策を地域統合的に検討実施する目的で熊本県主導のもとに立ち上げた「阿蘇草原保全支援システム」へ阿蘇 DC の事業を付託しました。</p> <p>・地元小学生の草原環境・体験学習 ・普及啓発活動・セミナー開催など</p>	
決算額	<p>【総額】 1, 500 千円</p> <p>イ 阿蘇草原保全支援システム（支払負担金） 1, 500 千円</p>	

【ウ 阿蘇産品の振興】

事業内容	<p>ウー1 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業（資料1・2）</p> <p>新たな阿蘇地域の産品の発掘として、阿蘇地域内で栽培が始まった珈琲豆や地熱を利用し、豆を蒸す方法（地熱珈琲）や各地域の個性的な店舗など、阿蘇地域の気候や土壌を生かす取り組みが図られており、「阿蘇珈琲」のブランド化への活動支援として、「阿蘇の食卓 vol.3 阿蘇珈琲物語」を発行しました。</p> <p>なお、珈琲豆の産地と火山の関係は深く「キリマンジャロ」はその代表と言えます。「阿蘇」という珈琲豆の認知が待たれます。</p>	
		阿蘇の食卓 vol.3

また、あか牛丼に続く新たなメニューとして人気急上昇のあか牛ハンバーグを特集し、ハンバーグを提供する34店舗（阿蘇地域）を掲載した「阿蘇ハンバーグマップ」を作成し、アフターコロナを見据えた誘客に努めました。

阿蘇地域ハンバーグマップ→



ウー2 魅力ある景観再生による花の回廊づくり (資料3-1・2)

毎年3月下旬から4月上旬には、各市町村の公共施設周辺やメインの通りや学校周辺などにチューリップのなど花が咲き、桜などの春の花とも相まって、阿蘇地域を周遊し写真に撮る来訪者の姿も多く見受けられ、春の風物詩として定着しています。

- ・あそ花旅Instagramコンテスト開催
(春・・・サクラやチューリップなど)
(秋・・・紅葉やコスモスなど)



あそ花旅ポストカード

ウー3 阿蘇世界農業遺産を巡るフットパスコース魅力化事業

阿蘇世界農業遺産推進協会と連携し、南阿蘇鉄道開通記念イベントとして開催しました。(資料4)

- ・開催日 2023年3月19日(土)
- ・阿蘇世界農業遺産阿蘇フットパス岸野コース(南阿蘇村岸野)
- ・参加者 60名(スタッフ含む)



フットパス参加者



参加者募集チラシ

決算額	【総額】	2,927千円(補助金/400千円)
	ウー1 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業	1,469千円
	ウー2 魅力ある景観再生による花の回廊づくり	737千円
	ウー3 阿蘇地域世界農業遺産を巡るフットパスコース魅力化	366千円
	事務経費(旅費交通費など)	355千円

【エ 世界ブランド事業の推進】

<p>事業内容</p>	<p><u>阿蘇ジオパーク推進協議会へ負担金支援（閲覧資料2）</u> 平成25年5月の「世界農業遺産」の認定、平成26年9月の「阿蘇世界ジオパーク」の認定など、世界に通じるブランド確立に向けた動きを踏まえ、様々な団体と連携を図り、「豊かな自然を活用した世界ブランドの確立」に向けて取り組みます。</p> <p><u>エー1 阿蘇ジオパーク推進協議会への負担金</u> 阿蘇ジオパーク推進協議会の活動支援のために必要な経費の一部を負担し支援しました。</p> <p><u>エー2 阿蘇ユネスコ世界ジオパーク再認定審査負担金</u> 令和4年10月、ユネスコによる再審査が実施されました。阿蘇地域での現状や地域での取り組みを視察。その結果、阿蘇地域の暮らしぶりは、土地＝ジオと密接にかかわっていると評価され、2023年から4年間の継続認定を受けました。</p> <div data-bbox="908 958 1362 1189" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">阿蘇ユネスコジオパーク再認定審査</p>
<p>決算額</p>	<p>【総額】 12,660千円</p> <p>エー1 阿蘇ジオパーク推進協議会（負担金） 10,000千円</p> <p>エー2 阿蘇ユネスコ世界ジオパーク再認定審査負担金 2,610千円</p> <p>事務経費（旅費交通費など） 50千円</p>

《公益目的事業 2 地域の元気再生による地域力向上》（取り組み①）

令和4年度下半期からは、新型コロナウイルスワクチン接種も普及し、徐々に国内旅行者も国の旅行支援もあり回復傾向となりました。その社会的な変化もあり、地域元気再生支援事業の使途もアフターコロナを見据えた活動が顕著となりました。

また、令和4年度もASONAVI（アソナビ）の充実はもとより、身近な阿蘇地域のCATVやエフエム放送などの発信に加え、SNSを活用した情報発信を行いました。

令和3年度に開講した「あそ未来創造塾」を継続させ、次代を担う人材育成に努めるとともに、地域づくりセミナーやフォーラムを開催しました。

【 ア 地域元気再生支援事業 】

事業内容	<p>令和4年度阿蘇地域元気再生支援事業（資料5）</p> <p>地域の元気再生による地域力向上をめざし、地域の自然、文化、歴史、産業、生活習慣等の特性を地域資源として発見、活用し、魅力ある地域づくりと地域の活性化を図ることを目的とした取り組みに対し、助成を行いました。</p> <p>・上限75万円 ・助成対象経費の60%以下</p> <p>【助成事業数11件】</p> <ol style="list-style-type: none">① 第1回古代の里ヤマメ釣り大会 (阿蘇市手野きよら会)② 水車改修事業(阿蘇市 手野名水会)③ 阿蘇山登山口休憩スポットづくり事業 (ASO 登山口ツーリズム推進会)④ 池山水源ライトアップ事業(産山村観光協会)⑤ 大草原うさぎ追INうぶやま(産山村)⑥ ワークションスペース作成事業 (小国町 一財学びやの里)⑦ 新たな湯あかりの創出と町全体への点灯拡大事業 (南小国町観光協会)⑧ NISHIHARA Autumn フェスティバル (西原村商工会青年部)⑧ 八王社例大祭鬼神まつり (西原村 宮山八王社例大祭まつり実行委員会)⑩ アフターコロナ見据えた観光客受け入れ環境整備事業 (一社みなみあそ観光局)⑪ そよ風パークブルーベリー館改修事業 (山都町 株式会社エネルギープロダクト)
------	--

	 <p>産山村うさぎ追い事業</p>	 <p>南阿蘇村環境整備事業</p>
	 <p>西原村オータムフェスティバル</p>	 <p>阿蘇市水車改修事業</p>
決算額	【総額】	4, 7 1 5 千円
	① 阿蘇地域元気再生支援事業助成金	4, 6 6 5 千円
	② 事務経費（旅費等）	5 0 千円

【 イ 的確な情報の発信 】

事業内容	<p>イー1 観光情報ポータルサイト「阿蘇ナビ」と関連コンテンツの管理・運営・保守</p> <p>「ASONAVI（阿蘇ナビ）」のほか、ホームページや SNS を活用して、鮮度の高い情報発信を行いました。</p> <p>特に ASONAVI においては、サイトをハブにした展開を図るとともに、ASO フットパスや阿蘇の食卓、阿蘇くじゅう Free Wi-Fi、サクラクオリティなどとのコンテンツの共有を進めています。</p> <p>また、SNS を活用した情報発信として、フェイスブックやインスタグラムを通じて、日常的な情報発信を行いました。</p> <p>『阿蘇ナビ』の URL http://aso-navi.com/ja/top/</p>
	 <p>阿蘇フットパス</p>

イー2 阿蘇DCホームページの管理・運営・保守

当財団ホームページの管理・運営・保守を行いました。

HP 閲覧数： (令和4年度) 16,332PV
(令和3年度) 20,183PV

イー3 地域住民に身近な情報媒体での情報発信

阿蘇地域のCATVやエフエム放送などを活用して、あそ未来創造塾や観光地域づくりリーダー育成講座、ASO ロゲイング大会などの発信に努めると同時に、SNSを活用した情報発信を行いました。

阿蘇地域観光地域づくり育成講座(おぐチャン放送) →



イー4 阿蘇くじゅう高千穂ツーリストマップ増刷事業

阿蘇くじゅう高千穂ツーリストマップの日本語版・英語版の増刷を図り、阿蘇地域の玄関口である大津町のビジターセンターや熊本空港到着ロビー、トヨタレンタカー営業所などで配布しました。(資料6)



阿蘇くじゅう高千穂ツーリストマップ

また、地元の観光協会などから要望の多い阿蘇地域限定のツーリストマップ(阿蘇地域ツーリストマップ)を作成し、交通アクセスの復旧や開通に関する身近な情報を発信しました。(資料7)



阿蘇地域ツーリストマップ

イー5 くまモン情報発信事業

大人気を誇る「くまモン」のうちわを制作し東京や大阪のプロモーションやマルシェ会場などで配布しました。

大人気のくまモンうちわ →



イー6 ナイトツーリズム情報発信事業

(資料8-1) (資料8-2)

阿蘇地域の夜の情報発信事業の一環として、フォトコンテスト事業を実施しました。

また、阿蘇地域で展開されているイルミネーションなどのマップを作成しました。

フォトコンテストカード →



イー7 情報誌の制作（資料9）

阿蘇 DC の事業内容を掲載した阿蘇の人のための情報誌『aso lulu』第23号を発行しました。
発行部数：2,500部



情報誌 aso lulu

※当財団 HP から閲覧いただけます。

http://www.asodc.or.jp/library/data_asolulu/asolulu21.pdf

イー8 大学・企業との連携

熊本大学クマリズムとは、ASO ロゲイニング2022 in 小国・南小国・産山における参加者の誘導や集計作業及び来訪者満足度調査の外国人ヒアリングでも協力頂き、連携体制を強化しました。

また、阿蘇くじゅう観光圏アドバイザーである大正大学柏木千春ゼミの学生をインターンシップ生として受け入れ、阿蘇地域の観光調査を実施しました。

イー9 阿蘇地域公式 SNS 繁体字版構築実証実験事業

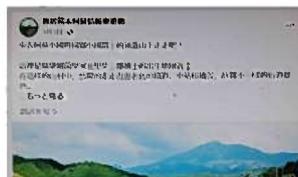
（資料10）

TSMC を念頭に、台湾向けの SNS (Facebook) を立ち上げ、阿蘇地域の観光・生活・文化情報等を実験的に発信しました。

台湾からの「いいね」も日増しに増加しており、在日の台湾関係者にも波及効果が生じています。

（フォロワー数484人リーチ数30,204人）

（令和5年4月末）



台湾向け「Facebook 旅居熊本阿蘇情報楽遊趣」

決算額	【総額】	4,144千円
	イー1 阿蘇ナビ等の管理・運営・保守	279千円
	イー2 財団ホームページ管理・運営・保守	151千円
	イー3 地域住民に身近な情報媒体での情報発信	1千円
	イー4 阿蘇くじゅうツーリストマップ増刷事業1,	045千円
	イー5 くまモンうちわ情報発信事業	407千円
	イー6 ナイトツーリズム情報発信事業	372千円
	イー7 情報誌の制作	552千円

イー8	大学・企業との連携	52千円
イー9	阿蘇地域公式 SNS 繁体字版構築実証実験事業	520千円
	事務経費	591千円
	旅費	174千円

【ウ 阿蘇回帰運動への取り組み】

事業内容	<p><u>ウー1 新たな関係人口創出事業</u> 関係人口に関する情報 WEB サイト制作について、事前調査を行いました。 今後、具体的な関係人口に関するサイトを構築し運用に向けて、関連するイベントやボランティア募集などについても、その都度情報の更新を行います。</p>
	<p><u>ウー2 「九州・山口・沖縄・しごと・くらし発見フェスタ 2022」</u> 令和4年5月28日（日）。東京有楽町のふるさと回帰支援センターにて開催の「九州・山口・沖縄・しごと・くらし発見フェスタ 2022」に出展しました。</p> <p style="text-align: right;">移住定住相談会→</p>
	<p><u>ウー3 阿蘇地域移住定住相談会等資料作成</u> 平成29年度に作成した資料内容に、変更が多々生じ、現況と相違が生じたこと及び在庫不足となったことから改訂を行いました。 発行部数 5,000部 （資料11）</p> <p style="text-align: right;">移住定住相談会資料</p>
	<p><u>ウー4 大都市圏（福岡都市圏）における関係人口創出キャンペーン事業</u> 令和4年12月11日（日）。ららぽーと福岡にて関係人口創出キャンペーンを行いました。 同時に阿蘇地域の観光 PR やあそ花旅などの写真展も開催しました。 また来場者を対象に移住定住相談アンケートも実施し、115件の回答を回収しました。 （閲覧資料3）</p> <p style="text-align: right;">ららぽーと福岡会場</p>

	<p>ウー5 大都市圏（首都圏）関係人口創出キャンペーン事業 令和5年1月21日（土）22日（日） 銀座熊本館にて、熊本県東京事務所と連携して開催しました。 なお、事前予約した相談者（学生や一般人）9名が訪れ、先輩移住者野中千夏子さん（木工家/高森町）の経験談に熱心に耳をかたむけました。（資料12-1）（12-2）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">銀座熊本館 相談会 相談者募集チラシ</p> <p>他にも、地方への大学進学を検討している高校生や定年後にUターンを計画している阿蘇郡内の女性など、目的を持った参加者が多く来場し、予想以上の成果を得ることができました。</p>														
決算額	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;">【総額】</td> <td style="text-align: right;">3, 138千円</td> </tr> <tr> <td>ウー1 新たな関係人口創出事業（事前調査）</td> <td style="text-align: right;">34千円</td> </tr> <tr> <td>ウー2 ふるさと回帰に関する相談事業</td> <td style="text-align: right;">261千円</td> </tr> <tr> <td>ウー3 阿蘇地域移住定住相談会等資料作成</td> <td style="text-align: right;">970千円</td> </tr> <tr> <td>ウー4 大都市圏における移住・定住キャンペーン （福岡都市圏関係人口創出キャンペーン事業）</td> <td style="text-align: right;">1, 435千円</td> </tr> <tr> <td>ウー5 首都圏関係人口創出キャンペーン事業</td> <td style="text-align: right;">235千円</td> </tr> <tr> <td>事務経費</td> <td style="text-align: right;">200千円</td> </tr> </table>	【総額】	3, 138千円	ウー1 新たな関係人口創出事業（事前調査）	34千円	ウー2 ふるさと回帰に関する相談事業	261千円	ウー3 阿蘇地域移住定住相談会等資料作成	970千円	ウー4 大都市圏における移住・定住キャンペーン （福岡都市圏関係人口創出キャンペーン事業）	1, 435千円	ウー5 首都圏関係人口創出キャンペーン事業	235千円	事務経費	200千円
【総額】	3, 138千円														
ウー1 新たな関係人口創出事業（事前調査）	34千円														
ウー2 ふるさと回帰に関する相談事業	261千円														
ウー3 阿蘇地域移住定住相談会等資料作成	970千円														
ウー4 大都市圏における移住・定住キャンペーン （福岡都市圏関係人口創出キャンペーン事業）	1, 435千円														
ウー5 首都圏関係人口創出キャンペーン事業	235千円														
事務経費	200千円														

【エ 人材育成事業】

事業内容	<p>エー1 令和4年度 あそ未来創造塾（資料13） 2期目にあたる4年度は、塾生11名、聴講生1名の参加を得て、塾長の高橋理事長及び甲斐熊本大学副学長をお迎えし8月3日（月）に開講式を開催しました。 メイン講師である熊本大学金岡先生の講義に加え、ゲスト講師や実践者の事例報告及び事例研究を履修しました。 また塾生に対する具体的な事業提案に関するヒアリングを金融機関と合同で行いました。 3月6日（月）には、最終プレゼン及び修了式を開催、阿蘇地域の新たなローカルイノベーターとして11名が旅立ちました。</p> <div style="text-align: right;">  <p>募集チラシ</p> </div>
------	--

エー2 全国の未来創造塾との連携・ネットワーク構築

令和4年度は、熊本県内にて開講した4つの創造塾や富山県南砺市、和歌山県田辺市などをオンラインで結んでのハイブリッド講座を開催しました。

また、熊本大学主催の合同講義や交流会などが開催されるなど、情報共有と人的交流はもちろん全国的な創造塾のネットワーク化が進んだのが令和4年度の成果としてあげられます。

3月18日（土）開催の和歌山県田辺市のたなべ未来創造塾終了式に参加。出席した全国の創造塾生との連携とネットワーク構築を図りました。

なお、熊本大学通信86号で取り組みが詳しく紹介されました。（閲覧資料4）

たなべ未来創造塾→



エー3 地域振興などに関するキャリア教育

7月14日（木）、小国高校体験入学会にて、デザインセンターの取り組みやあそ未来創造塾の紹介及び小国町の地域課題などについて発表しました。

なお、熊本大学からは甲斐副学長や伊藤助教が参加しました

3月10日（金）、小国高校「尚志講座」にて、ふるさと納税に関する研修会を開催し、卒業後における地域貢献などについて講義を実施しました。

3月に開催された小国高校生有志による「写真展」（道の駅小国）も後援しました。



尚志講座（小国高校）

エー4 あそ未来創造塾スプリングフォーラム開催（閲覧資料5）

3月28日（金）。熊本県内の未来創造塾から天草市と八代市の修了生及び担当者。あそ未来創造塾第1期生・第2期生によるフォーラムを開催しました。

熊本県内の創造塾（八代市・玉名市、天草市、菊地市、山鹿市）との連携を強化し、ローカルイノベーターとして情報を共有することにより、更なる人的ネットワークを拡充することを目的に開催しました。



スプリングフォーラム

エー5 地域づくりセミナー（閲覧資料6-1）

第1回地域づくりセミナー

令和4年12月13日（火）。草原学習館にて開催しました。

テーマ 萩ジオパークのつくり方

講師 白井 孝明氏

日本ジオパークネットワーク委員会の白井孝明山口県萩市専門員をお招きし開催しました。20名受講（オンラインを含む）。

萩市の成り立ちや阿武火山帯について、「ブラタモリ」風に講演されました。あわせて、ワークショップも開催し阿蘇地域をめぐるジオツーリズムを各班で提案をしました



地域づくりセミナー①

第2回 地域づくりセミナー（閲覧資料6-2）

令和5年2月10日（金）。阿蘇市就業改善センターにて開催しました。

テーマ 山都町のまちづくりに学ぶ

～SDGs 未来都市と移住定住～

移住定住の相談などで全国から注目を集めている山都町から、講師お二人を招聘し開催しました。

有機農業が盛んなことから、農業を目的に移住するケースが多いこと。また、「山の都地域しごとセンターが。移住者と地元とのマッチングを行っていることなど、先進的な取り組みを学ぶことが出来ました。

その後、参加者から移住定住に関する多くの質問があり、特に市町村の担当者から「現場に即した対応について参考になった」との感想がありました。



地域づくりセミナー②

	【総額】	3, 896千円（補助金／250千円）
決算額	エー1	あそ未来創造塾 2, 631千円
	エー2	全国の未来創造塾との連携・ネットワー構築 211千円
	エー3	地域振興などによるキャリア教育 250千円
	エー4	あそ未来創造塾スプリングフォーラム 457千円
	エー5	地域づくりセミナー 166千円
		事務経費（旅費等） 181千円

《公益目的事業3 広域連携による競争力のある観光地づくり》（取り組み③）

令和4年度においては、新たな阿蘇資産として構築（DXと連動したアクティビティ）した「ASO ロゲイニング大会」も、小国町・南小国町・産山村の北阿蘇地区開催で4年目を迎えました。参加者数も回を重ねるごとに増加し、リピーター率も向上し、地域の資産を活かしたスポーツアクティビティとして定着したところです。

広域連動型観光まちづくりにおいては、新型コロナウイルスによる世界的な感染拡大の影響を受け、訪日外国人数は入国制限もあり厳しい状況でしたが、ワクチン接種の促進により、下半期には緩和され、東アジアからの訪問者が顕著となりました。

国内旅行者においてもワクチン接種の普及や治療薬の登場に加え、国による旅行支援策もあり、徐々に回復傾向となりました。

そのような状況の好転もあり、インバウンド向けの観光庁による補正予算が計上されたことから、当時団も数件申請し、観光庁から事業3件が採択されました。

来年度を念頭に置いた、アフターコロナを見据えた事業の申請に向けて、調査や準備を進めています。特に本県のTSMC誘致促進に伴い、台湾をターゲットにした事業や熊本空港のリニューアルオープンに向けての情報発信による実証実験事業にも取り組みました。

また、阿蘇地域の観光まちづくり人材育成の一環として、令和4年度も「観光地域づくりリーダー育成講座」を開講し12名の修了生を輩出しました。

その他、第3次観光圏整備計画及び実施計画を策定し、向こう5年間の観光施策の方向性を示すことが出来ました。

阿蘇くまもと空港 到着ロビーにて動画放映及び観光パンフ配布中



【ア 新たな阿蘇資産の構築・推進】

事業内容	<p>アー1 阿蘇地域における持続可能なスポーツツーリズム構築</p> <p>「第4回ASO ロゲイニング2022大会 in 小国・南小国・産山」を、登山地図アプリの柵ヤマップの支援と「北阿蘇観光会議」の協力のもと、小国町・南小国町・産山村を舞台に開催しました。</p> <p>当日は、あいにく小雨の降るなか約250名の参加者が、福岡県や熊本県内から訪れ、午前10時30分に小国ドームをスタート。小国町中心街地で開催中の「おぐにマルシェ」に立ち寄る家族連れも多数ありました。黒川温泉や杖立温泉にも向かったグループもありました。</p> <p>また、産山村では「無料乗馬体験」もありました。</p> <p>(資料14)</p> <p>なお、マルシェや乗馬体験、ミニコンサートなど、回を重ねるごとに地域との連携事業も増え、認知度の高まりを感じる大会となりました。</p> <p>また、RKB 毎日放送でも夕方の人気番組である「タダイマ」で福岡エリアにて放映され、問い合わせが相次ぎました。</p>
	
	<p>閉会式 (小国ドーム)</p>
事業内容	<p>アー2 阿蘇らしい新たなツールの造成</p> <p>実証実験事業として「コワーキングスペース」を実験的に2か所（阿蘇市・産山村）に設け、将来の運用について調査。</p> <p>また、阿蘇市のケースでは、人気の飲食店近くの空き店舗を活用して、観光案内所や写真展会場としても併用し、阿蘇地域への回遊コースの起点を構築しました。</p> <p>二次交通の先進モデルとして評価の高い三重県伊勢市の「まるごと切符」の視察を実施しました。</p> <p>クーポン付きの乗り放題方式を採用しており、オーバーツーリズムを意識した対応策として活用しており、今後の参考となり取り組みでした。</p>
	
	<p>ギャラリー内牧</p>
決算額	<p>【総額】 4, 3 2 9 千円</p>
	<p>アー1 阿蘇地域における持続可能なスポーツツーリズム構築 2, 9 9 5 千円</p>
	<p>アー2 阿蘇らしい新しいツールの造成 6 2 5 千円</p>
	<p>アー3 デザインセンターHP 活用に関する調査事業 2 0 0 千円</p>
	<p>事務経費 (旅費等) 5 0 9 千円</p>

【イ 何度も訪れたいくなる観光地域づくり】

事業内容	<p><u>イー1 国内旅行者誘客創出事業</u></p> <ul style="list-style-type: none">・日本観光ショーケースへの出展 <p>日 時 令和5年3月24日（金）～26日（月） 場 所 インテックス大阪（大阪府）</p> <p>令和3年度の出展で判明した阿蘇地域の認知度や再来訪の希望の高い関西地区をターゲットに観光PR事業一環として出展しました。コロナ感染拡大もワクチン接種の普及等により落ち着き始めたこともあり多くの来訪者がありました。</p> <p style="text-align: right;">日本観光ショーケース</p> <p>・さんふらわあフェスティバル（大阪市）</p> <p>令和5年1月13日（金）から15日（日）にて、開催の「さんふらわあフェスティバル」（大阪市）に、阿蘇地域振興局と連携して参加しました。</p> <p>なお、「さんふらわあ号」の新建造に伴う大分県と熊本県との連携イベントとして開催されたものです。</p> <p><u>2 阿蘇エコツーリズム協会の運営・支援（閲覧資料7）</u></p> <p>阿蘇地域の豊かな自然や景観を地域資源としたエコツーリズム協会の事業を推進します。</p> <p><u>3 阿蘇グリーンツーリズム協議会の支援（閲覧資料8）</u></p> <p>農家民宿などの運営者による同協議会を核にした阿蘇地域における「農泊」を確立することで、インバウンドの再受け入れの体制づくりや体験事業に対し負担します。</p> <p><u>4 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金</u></p> <p>平成31年2月に開設された同協議会にオブザーバーとして参画し、情報を収集するための調査活動に対し協議会費を負担します。</p> <p><u>5（公社）熊本県観光連盟へ参画</u></p> <p>県内における観光事業の振興を図り、併せて魅力ある観光地づくりと来ない及び国外からの観光客誘致を行う上記団体への調査・収集に参画し、情報の共有化と連携化に繋がります。</p> <p><u>6 各種観光PRイベント出展</u></p> <p>令和5年1月21日（土）に熊日びふれす広場にて、ASOカルデラマルシェに参加し、阿蘇地域への誘客を図りました。</p>
------	---



日本観光ショーケース

7 国内旅行者誘客の為の調査事業

中国地方国内旅行者誘客調査事業

10月24日（月）～25日（火）において、広島市のコンベンション協会を視察しました。

阿蘇地域への県外来訪者が、福岡県に次いで多い広島県（熊本県観光統計より）をターゲットにしたプロモーションを、今後検討していくために実施しました。

広島観光コンベンション協会もあわせて視察。



阿蘇くまもと空港観光情報発信モニター

8 マイクロツーリズム事業

阿蘇くまもと空港のオープンに伴い、一階到着ロビー観光情報発信モニターを使用して、阿蘇地域の動画配信の試みや観光案内コーナーの設置を行いました。

9 テーマツーリズム推進事業（資料15）

年度カレンダーを昨年度に続き発行しました。昨年度は「ASO SKY」をテーマにした阿蘇地域の空を写真にて特集しました。

各地のプロモーション会場などで好評であることから、令和4年度も以下のテーマで制作しました。



ASO WATER

阿蘇地域は、九州の5大河川の源流を有する水の源であり、地域内においても多数の湧水が存在していることから「ASOWATER（阿蘇の水）」をテーマにした応募写真などを中心に選び、カレンダーを1,000部作成しました

	【総額】	3, 174千円
決算額	イー1 国内旅行者誘客創出事業	925千円
	2 阿蘇エコツーリズム協会の運営・支援	300千円
	3 阿蘇グリーンツーリズム協議会の支援	300千円
	4 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金	100千円
	5 (公社)熊本県観光連盟へ参画	100千円
	6 各種観光PRイベント出展	51千円
	7 国内旅行者誘客の為の調査事業	24千円
	8 マイクロツーリズム事業	190千円
	9 テーマツーリズム推進事業	496千円
	事務経費(旅費等)	688千円

【ウ 広域連動型観光まちづくり事業】

<p>事業内容</p>	<p>令和4年度においては、新型コロナウイルスに対するワクチン接種や新薬の開発もあり、「日本国内旅行者」をターゲットとした旅行支援などもあり、徐々に回復傾向となりました。</p> <p>ウー1 広域周遊観光促進のための新たな観光地域支援事業</p> <p>観光庁事業である「広域周遊観光促進のための新たな観光地域支援事業」を全国観光圏推進協議会加盟の13観光圏の共通事業として行いました。また国の直轄事業についても対応致しました。</p> <p>《国土交通省／観光庁助成事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿蘇くじゅう観光圏マーケティング調査事業【定額補助】 阿蘇地域関係市町村及び竹田市・高千穂町にある170の宿泊施設に対し同調査を留め置き形式で夏冬2回実施しました。 なお、外国人ヒアリング調査は夏季と冬季の2回実施しました。(資料16) ・全国観光圏推進協議会共通事業【定率補助】 <ol style="list-style-type: none"> ①全国観光圏推進協議会(5回) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、3回のオンライン形式と2回のリアル開催に参加しました。 ②観光地域づくりマネージャーレベルアップ研修 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、すべてリモート形式で受講しました。(3回12名参加) ③全国観光圏推進協議会 {VISITJAPAN トラベル&MICE マート} 商談会は9月のツーリズムEXPO2022にて実施しました。 ・「UNDISCOVERED JAPAN」情報発信事業も継続して行いました ・阿蘇DC申請事業 <ol style="list-style-type: none"> ①阿蘇「寺体験」コンテンツ造成事業 現在、商品造成としての寺体験は終了。 OTAなどへの商品販売作業を展開しました。(観光庁/50%補助) ②インバウンド向け「時の旅・風の旅」パンフレット制作 阿蘇くじゅう観光圏及び千年ロマン観光圏との連携事業 5,000部作成 (観光庁/50%補助) (資料17) <p style="text-align: right;">阿蘇くじゅう観光圏パンフレット</p>
-------------	---



ヒアリング調査



寺体験精進料理



ウー2 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業

・素敵女子の阿蘇旅コンテンツ造成事業

1 1月に管内の女性によるコンテンツ造成会議が終了し、4つのコンテンツを立案し、昨年12月初旬にモニターツアーを実施。その後OTAなどの旅行会社販売の商品を造成しました。女子旅コンテンツ（観光庁/事業費7,000千円の内6,000千円国庫補助）



ウー3 九州3観光圏連携事業

3観光圏会議にて連携し相互意見交換の勉強会を3回実施。

ウー4 阿蘇くじゅう観光圏観光品質認証制度継続事業

全国観光圏推進協議会のサクラクオリティ委員会の方針に準じました。

ウー5 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議の運営・支援

令和4年7月8日（金）の午後2時から阿蘇市農村環境改善センターにて総会を開催しました。

「九州観光の動向と今後の方向性」と題して、九州運輸局の江里口様にご講演頂きました。

令和4年9月22日（金）から25日（月）まで、東京ビッグサイトで開催のツーリズム EXPO 2022 in 東京に出展しました。



ツーリズム EXPO2022

令和5年2月14日（月）には、阿蘇くじゅう観光圏アドバイザーの柏木千春大正大学教授を講師に研修会「素敵女子のおしゃべり時間」を開催し、阿蘇くじゅう観光圏のブランドコンセプトについて検討しました。（閲覧資料9）



素敵女子のおしゃべり時間

ウー6 阿蘇くじゅう観光圏整備計画策定

令和4年度は「観光圏整備計画」策定の年度となっており、観光地域づくりマネージャー（15名）を主体とした作業部会を中心に計画づくりを行いました。あわせて観光圏実施計画も策定しました

（閲覧資料10）



作業部会のワークショップ

	<p>なお、令和5年4月5日付で、国土交通大臣より、認定証が交付されました。</p> <p><u>ウー7 令和4年度阿蘇地域観光地域づくりリーダー育成講座</u> 令和3年度に続き、令和4年度も熊本県地域づくり夢チャレンジ推進事業の助成を受けて開講しました。 11名が受講し、各自プロジェクトを作成。1月に発表会を終えました。 今後は具体的な実践活動に取り組みます。 (資料18)</p>  <p style="text-align: right;">プロジェクト発表会</p>
	<p>【総額】 25,094千円 (補助金12,970千円)</p>
	<p>ウー1 広域周遊観光促進のための観光地域支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 全国観光圏推進協議会連携事業 504千円 ② 阿蘇「寺体験」コンテンツ造成事業 4,000千円 ③ インバウンド向け「風の旅・時の旅」パンフレット制作 3,647千円 <p>ウー2 「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」 7,017千円</p> <p>ウー3 九州3観光圏連携事業</p> <p>ウー4 阿蘇くじゅう観光圏観光品質認証制度継続事業</p> <p>ウー5 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議負担金 1,000千円</p> <p>ウー6 観光圏整備計画策定 3,286千円</p> <p>ウー7 阿蘇地域観光地域づくりリーダー育成講座 2,847千円</p> <p>事務経費(旅費・輸送費・消耗品費等) 2,793千円</p>